

## 4 外部評価委員からのご意見

第4回外部評価委員会において、今後の外部評価委員会及び川口市行政評価に関して、外部評価委員より以下のとおりご意見をいただきました。

<外部評価委員からの主なご意見>

- 市行政は複雑多岐に渡るものなので、この外部評価はとても意義のあるものだと感じた。
- 事業内容説明シートによって、事業の目的や内容が理解しやすくなった。
- 実施計画事業評価調書の内容が理解しにくい。
- 会議開催前に事務局から事業概要説明があり、紙面だけでは読み取りにくい内容を直接説明いただけたことは有益だった。
- 事前質問を考えることは、行政への貢献の一環となると確信し、会議に参加しているので、来年度は、事前質問数について再考いただきたいと思う。
- 予算を削減したり、事業を見直したりするだけでなく、予算を増額すべき事業に対しては、積極的な増額を提言できるようにすることを希望する。
- 企画財政部という部は他市では例が少なく、企画と財政の距離が近いことは、この評価を予算に反映しやすいのではないかという期待を持てるので、今後は評価結果の反映をより明確に打ち出してほしい。
- 職員には、事業の改善の推進を図らなくてはということと、事業の急激な変化を敬遠するということの二つの心理があるように思える。その心理に対し、変化を促すことも外部評価の役目の一つと感ずることから、今後は、評価結果をより事業に効果的に反映するための道筋を積極的に検討いただきたい。